

続・ふるさと

おおくま 青木の観腸先生①

— 酒井良清物語 —

酒井良清先生は、明治43年7月18日、南高根沢青木に江戸時代中期から続く医者酒井家九代目として生まれました。

昭和13年3月に日本大医学部を卒業後、終戦まで軍医を務めた。戦後は一貫して親切をモットーに患者本位の庶民医、昼夜を問わない献身的な診療活動を九十余の高齢まで続けた。

診療を続けながら南高根沢村公民館長(約20年)、学校医(約40年)、民生委員(約30年)、教育委員(約20年)、国保運営委員(約20年)、社会福祉協議会長、芳賀郡医師会副会長、町医療研究会会長など、数々の要職に就くだけでなく、

それぞれの分野で中心的役割を果たし、組織の運営に尽力した。

これらの功績が認められ、平成4年3月には下野県民賞受賞、平成8年3月には芳賀町名誉町民第1号として顕彰されている。

趣味も幅広く、書道は昭和46年ごろから宇都宮の平田旭峰先生に師事、俳句は戦友の大兼水雲先生に師事、酒井観腸は良清先生の俳号である。詩吟は昭和47年ごろから宇都宮の山崎凱秀先生、次いで岩淵凱鳳先生に師事している。

先生の趣味として忘れてならないのが歌謡曲で、観腸先生といえば「星影のワルツ」に尽きる。満面の笑み

第69回

を浮かべ歌う先生の姿はいつまでも忘れられない。

多くの町民に惜しまれながら平成17年8月30日午後3時、95歳の天寿を全うされた。平成17年10月1日には、芳賀町・芳賀町教育委員会・芳賀町社会福祉協議会・芳賀町医療研究会主催の合同葬が芳賀町民会館で執り行われ、多くの町民が訪れ観腸先生の冥福を祈った。



▲酒井良清先生の合同葬



しまたがしの 芳賀の自然 21



ウラギンシジミ チョウ目シジミチョウ科
 (写真提供=芳賀町自然に親しむ会)撮影場所:町内
 分 布=本州以南(中部地方以南)
 生息地=平地から山地(雑木林に多い)
 時 期=5月~11月(発生:2回/年)
 食 性=フジやクズなど
 大きさ=開張(羽を広げた最大値)25~30mm
 特 性=羽表が黒色の地色で雄が朱色の斑紋。雌が灰色。裏側は名前の由来である鮮やかな銀色である。林の中を敏速に飛び回り成虫のまま越冬する。

編集後記

□新型インフルエンザの予防接種が優先順に始まりましたね。これからの冬の季節、新型に限らず季節性のインフルエンザや普通の風邪も流行してきます。気をつけていても、かかってしまう場合もあります。かかってしまったら…お医者さんに頼るのが一番でしょうね。

でもまずは、かからないように予防。手洗いやうがいなどを心がけましょう。(Y)



▲かしの森公園 (下高根沢)

- 編集 芳賀町広報聴覚委員会
☎028(677)6032 ✉kouhou@town.haga.tochigi.jp
- 発行 芳賀町企画課
栃木県芳賀郡芳賀町大字祖母井1020番地
- 芳賀町ホームページアドレス
<http://www.town.haga.tochigi.jp>

📱芳賀町の携帯サイトはコチラから➔

